



安心できる第2の居場所 ～放課後クラブ体験レポート～



▲放課後クラブの子どもたちにあいさつをするレポーター

今月のレポーター

加古 媛子

大府市在住の大学3年生。名古屋学芸大学ヒューマンケア学部において、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の資格を取るべく日々学んでいます。



す。市では、放課後クラブの指導員の確保が課題となっており、現在も随時募集をしています。

三つ目に、放課後クラブの終わりの時間まで滞在して感じたことをお話しします。市では、午後八時までの預かりが可能になっています。子どもたちが遅い時間まで放課後クラブにいることで、保護者との時間が短くなってしまうたり、夕食などの時間が遅くなってしまうという面があります。しかし、放課後クラブがなかったら、居場所がなくなったり、家で一人で過ごすことになったりするのかもしれない、そばに誰かがいて、一緒に過ごせる方がいいのかなと思いました。取材する前の私は、放課後クラブは働く親のためのものだと思っていました。しかし、体験してみても、放課後クラブは子どもたちのための取り組みだと思ってしまうようになりました。

子どもの健康な体を育み、心身の発達を促すためには、子どもたちが安心して安全に過ごせる場所を提供し、遊ぶことができるようにすることが重要です。また、家庭以外にも安心して過ごせる場所があることは、子どもたちにとっても心強いことだと思います。放課後クラブの重要性はどんどん高まっているように感じました。

「放課後クラブって何だろう?」小学生の頃の私は疑問に思っていました。成長するにつれ、おおよそのことが分かるようになりました。しかし、もっと詳しく知りたいと思い、東山放課後クラブで体験取材をさせてもらいました。

まず始めに放課後クラブとは、保護者が就労などのために家庭にいない小学生を、授業後や土曜日、夏休みなどに預かり、適切な遊びや生活の場を提供することで健全な育成を図るものです。近年、核家族や共働き家庭、単身家庭が増えていることから、放課後の子どもたちの居場所づくりが必要となってきました。その一助となる放

課後クラブは保護者にとって重要な存在です。そんな放課後クラブでの体験を通し、印象的だったことや感じたことを紹介します。

一つ目は、ある五年生の子が、放課後クラブで決められた自主学習の時間外に宿題をしている姿を見たことです。話を聞くと、自主学習の時間に宿題が終わらなかつたから、今しているとのことでした。周りで、多くの子どもたちが遊ぶ中、やるべきことだと理解し、しっかりと取り組んでいることにとても感じました。日頃から、学習の時間で自主学習する習慣がついているからこそののかなと思いました。

二つ目は、指導員の方が「外遊びなど人が必要なときはやはり大変と言われたことです。私が子どもたちと一緒に外で遊んだ際、その大変さを実感しました。できるだけ子どもたち全員を視界に入れるように気を付けていました。

ましたが、人数が増えてくるとそれも難しくなりました。物陰で見えない場面もあり、子どもたちの様子が分からないという不安がありました。子どもたちの安全のためには、見守る目を増やすことが必要だと思いました。全国的に少子化が進んでいます。市内の子どもの数は増加しているため、放課後クラブへの入所者数も増えていま

市内に9つある放課後クラブの指導員は随時募集中です。気になる方は、電話で学校教育課(☎(46)3331)へ。



認めあおう！ 自分らしさ

青少年女性課 ☎(45)6219

LGBTフレンドリー企業の 取り組み



前回紹介したLGBTに関連し、今回は「LGBTフレンドリー企業」について紹介します。

LGBTフレンドリー企業とは、LGBTに対する理解や受け入れを進め、顧客、社員などに対して、さまざまな取り組みを行っている企業をいいます。

◆顧客(利用者)に対する取り組み事例

- 携帯電話会社：同性パートナーにも家族割引を適用する
- 航空会社：マイレージプログラムを同性パートナーも共有可能にする
- 保険会社：同性パートナーの死亡保険金の受け取りを可能にする

◆社員に対する取り組み事例

- 「性的指向や性自認により差別しない」など、社内規定に明文化
- LGBTに関する社内研修を実施し、社員の理解を深める
- 結婚祝い金、育児休暇など福利厚生の対象に同性パートナーも含める
- LGBT社員向けの相談窓口を設置

このほか、LGBTイベントへの参加・協賛などを行っている企業や、就職活動中のLGBT学生に対して就職セミナーを実施する企業もあります。

今後このような考え方が浸透し、LGBTフレンドリー企業が増えることで、世の中の理解がますます進むとよいですね。



消費生活相談

自己啓発セミナーの契約に関する相談が増加！

■相談事例(20代・女性)

出会い系アプリで知り合った男性を通じて、総額150万円の自己啓発セミナーに勧誘された。断ったが、数時間説得され、疲れて面倒になった。お金は借りた方がいいと消費者金融に連れて行かれ、支払い能力についてうその申告をするよう指示され50万円を借りた。残りは預金を下ろして払い、契約をしたが、やめたい。



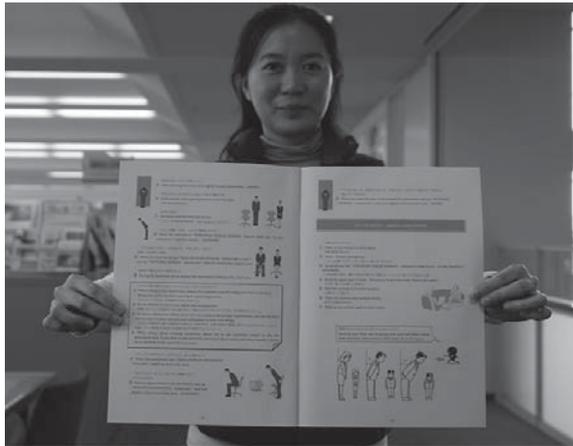
■事例に関するアドバイス

- 一度断ったにも関わらずしつこく勧誘し、契約するまで拘束をしたのは、消費者契約法の退去妨害に当たる可能性があります。また、消費者金融に連れて行かれて虚偽の申告を指示されたのは、県の条例違反などに当たります。セミナー契約の取り消しについて業者に書面通知をしましょう。
- 勧誘目的を告げられずに、電話やメール、SNSによって誘い出され契約した場合も訪問販売に該当します。訪問販売は、契約書面を受け取った日を含めて8日間はクーリング・オフをすることができます。また、事業者が事実と異なることを告げたり、脅かしたりすることによって消費者が誤認・困惑してクーリング・オフをしなかった場合は、上記期間を経過していてもクーリング・オフをすることができます。

商工労政課 ☎(45)6227 ■消費者ホットライン ☎188 ■市消費生活センター ☎(45)4538



前回に引き続き、ハローワーク刈谷で指導員をしている小林さんから外国人の就職状況について話を聞きました。外国人が仕事を探す上で一番のハードルになるのは「日本語」。多くの企業が「日本語でコミュニケーションがとれる人」を希望するからです。日本で仕事をする上で、日本語の会話ができることはとても大切なことです。ハローワークに来て求職活動をする外国人のうち、日本語が話せない人は約3割います。そこで、ハローワーク刈谷



▲ハローワークの外国人向け研修で使われるテキスト

では「はたらくためのほんご」という研修を実施しています。コミュニケーションを取るための日本語はもちろん、仕事探しのコツや保険制度、貯蓄の必要性などを教えています。

最近では小林さんたちがブラジル人学校などに出向いて、ハローワークの取り組みなどを紹介することで利用者が増え、実際に就職が決まった外国人も増えてきているそうです。

仕事を探す方法はいろいろありますが、もし、仕事探しをしている外国人が近くにいたら「一度ハローワークに行ってみたら?」と教えてあげてください。

料金受取人払郵便

大府郵便局
承認
707

差出有効期限
平成30年4月30日まで
(切手を貼らずに
お出しください)

郵便はがき

4 7 4 8 7 9 0

〈受取人〉
大府市役所
広報広聴課 行



広報おおぶ「みんなの声」専用はがき

年齢 / 歳 性別 / 男・女

広報おおぶの今後の編集や企画に生かしていきたいと思っています。
ご意見をお聞かせください。
広報広聴課 ☎(45)6214

「みんなの声」使い方

- 1 ✂ 広報紙から切り取ってください。
- 2 ✎ アンケート欄に記入してください。
- 3 📧 半分に折り内側全面をのり付けしてください。
- 4 📮 ポストに投函してください。

※広報おおぶに関するアンケートは、市ホームページでもお答えいただくことができます。

広報おおぶは1日号と15日号の月2回発行していますが、今年度より、8月と1月は合併号とし、月1回発行にしました。

- Q1 広報おおぶの発行回数についてどう思いますか？
また、なぜそう思いますか？ 理由をお聞かせください。
- ①月1回が良い ②月2回が良い ③どちらでも良い

理由

- Q2 今後取り上げてほしい企画や広報おおぶへのご意見・ご要望をお聞かせください。

破線に沿って切りとり、半分に折り、内側全面をのり付けして投函してください。

大府の真ん中に店を構えて62年 人助けの気持ちを、創業以来守りぬく



鈴木つた子さん・^{ひろかず}廣計さん
 (82歳・83歳、中央町)
 挙式：昭和30年12月20日
 (寄り添い62年)

◆馴れ初めは。

【つた子】実家がじいちゃん(廣計さん)のお兄さんに水道工事をしてもらったときに、じいちゃんが手伝いで来ていたことがきっかけみたいです(笑)。

【廣計】二人とも大府出身。同じ小学校のときからばあちゃん(つた子さん)を知っていたけれど、まさか将来一緒になるとは思ってもみなかったよ。

◆金物屋さん「まるひろ」はいつから？

【廣計】結婚の年に始めたから、かれこれ62年やっています。伊勢湾台風や不況など苦労もあったけれど、都度経験できたことが今に生きているね。

◆お互いの性格は？

【つた子】テレビも解説しちゃうくらいおしゃべり。だから私は聞き手に回るの。たまに聞き流していたりするけれど(笑)。

【廣計】昔から店を任せていたから、コンピューターみたいに知識が豊富で、職人相手に何でも売った。チャキチャキで、竹を割ったような性格。

◆生きがいは？

【廣計】同年で結成した^{いぬい}戌亥会をかれこれ40年以上続けているよ。毎年元旦に熱田神社でご祈禱を受けている。今でも20人くらい集まるね。

【つた子】私は65歳から、小学校時代の友人と年3回の旅行と月1のお茶会をしています。旅行は、今度行くと30回目。集まりを楽しみにしているから、みんな健康にはすごく気を使っているの(笑)。

◆これまでを振り返って。

【廣計】周りに恵まれてここまで来られた。創業以来の付き合いになる問屋も5、6軒あるんだよ。人助けの気持ちがないと、この仕事は続かなかったと思う。困っている人がいるから助けてきた。道楽的な心もあるんだろうね。

みんなに 
ごあいさつ

3歳以下のおおぶキッズをご紹介！
 掲載希望の方は広報広聴課へご連絡ください。
 広報広聴課 ☎(45)6214



^{ひろやす}小池 弘泰さん
 平成28年6月8日生まれ
 洋一郎さん(父) 朋美さん(母)

こんにちは！ 最近、靴を履いて、お外で少し歩けるようになった、弘泰です。
 初めて、芋掘りをしたよ。大きいお芋が掘れてうれしいな。ほくほくして、甘いから大好き！



^{りんたろう}北山 琳太郎さん
 平成28年8月30日生まれ
 潤一さん(父) 亜沙美さん(母)

はじめまして、琳太郎です。外に遊びに行くのが大好き！ お父さんお母さんと公園で大きいすべり台やブランコに乗ったとき、とっても楽しかったです！ もっともっと公園に行きたいなー。

広報おおぶの紙面を飾ってくださる方を大募集！

募集しているのは、「金婚カンコン」「みんなにごあいさつ」「表紙などの読者モデル」。掲載された方には、掲載した写真を、広報おおぶの表紙風に加工してプレゼント。記念に1枚いかがですか？ 詳細は市ホームページをご覧ください。

問い合わせ 広報広聴課 ☎(45)6214



ものづくりの楽しさが教えてくれた夢

有本 快生^{かいせい}さん

昨年11月に開催されたあいち少年少女創意くふう展2017にて最高賞の文部科学大臣賞を受賞した、石ヶ瀬小学校5年生の有本快生さん。今回の受賞について「目立つのは苦手だけど、受賞できてうれしかったです」と照れながら話します。

有本さんの作品は、片手で簡単に紙を切ることができる「トイレットペーパーかた手切り」。ペーパーホルダーのふたに長方形の穴を開け、そこから紙を出し、ふたに取り付けた外向きの刃で紙を切ります。切る際に紙がふたを押さえるので、片手でもトイレットペーパーが回転することなく切ることができます。「手をけがして、紙が切れず不自由そうにしているお兄ちゃんを見て、困っている人のために何かいい方法はないかと考えました」とアイデアのヒントについて話します。

ものづくりについて「何もないところから、ものが出来上がっていくところが面白くて好きです」と話す有本さん。4年生で大府市少年少女発明クラブに入った当初を「細かい作業が

多くて難しいと思いました。でも、ものを作れることが楽しくてたまらなかつたです」と振り返ります。クラブでは学校も学年も違う友達ができ、その友達と一緒に考えながら作業をするのに夢中になるそうです。

今後の目標、夢について、「今回の作品は、全国の優秀作品が集う全日本学生児童発明くふう展には落選してしまつたので、次回は出品できるように頑張りたいです。これからも、ものづくりを続けて、将来は建築士になりたいです」と笑顔で話します。ものづくりへの情熱が有本さんをさらに成長させていきます。



今回の特集について、ウェルネスパレード認定を受けた商品の製作に携わった方たちにお話を聞かせてもらいました。どの商品にも、完成までにはさまざまなストーリーがあり、また、製作者や関係者の思いが詰まっていることがわかりました。今回の特集、皆さんにもそういった思いの部分に触れてもらえるとうれしいなと思いながら作りました(土)